



# 日之影町サービス担当者会議

医療・保健・介護関係の連携・情報交換の場

①担当医師と直に情報交換する時間取りにくいことから、介護関係者にとっては、貴重な会議になっている。

②保健師及び地域包括支援センターが仲介することにより、介護だけでなく、他のサービス(福祉サービス、インフォーマルサービス)に繋げることができる。

③病院にとっては、通院(入院)していない対象者の情報を得ることができる。

④地域包括支援センターにとって、高齢者の実態及びケアマネージャーの後方支援に繋がる。





## 地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例（様式）

①市区町村名	日之影町
②人口（※1）	4, 521人（25.4.1住民基本台帳）
③高齢化率（※1） （65歳以上、75歳以上それぞれについて記載）	65歳以上高齢化率 40.7% 75歳以上高齢化率 26.6%
① 取組の概要	医療と介護の連携が密である
⑤取組の特徴	月1回、町立病院でサービス担当者会（医師、看護師、保健センター保健師、地域包括支援センター、ケアマネージャー）を開催し、今後の対応等について協議し、医療・保健・介護の貴重な情報交換及び連携の場となっている。
⑥開始年度	平成7年位
⑦取組のこれまでの経緯	平成2年頃から、医療・保健・福祉の連携会議を開催するようになり、その流れが続いている。
⑧主な利用者と人数	
⑨取組の実施主体及び関連する団体・組織	保健センター
⑩市区町村の関与（支援等）（※2）	保健センター保健師が、司会進行
⑪国・都道府県の関与（支援等）（※3）	なし
⑫取組の課題	なし
⑬今後の取組予定	現状のまま継続
⑭その他	特になし
⑮担当部署及び連絡先	保健センター 保健予防係 0982-73-7521

※1 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を（ ）内に記載してください。

※2 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。

※3 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。



### (3) 包括的・継続的ケアマネジメント事業

#### 【取り組み内容】

主治医、ケアマネジャー等との多職種協働や、地域の関係機関との連携を通じてケアマネジメントの後方支援を行うことを目的として、さまざまな地域における社会資源との連携・協力体制の整備等包括的・継続的なケア体制の構築等を行います。また、病院での定期的な会議を通して、医療関係との連携を図ります。

今後多職種・多機関とのネットワークの構築に努め、高齢者が地域で暮らし続けるための支援を行います。

## 3 任意事業

### (1) 介護給付等費用適正化事業

介護（予防）給付について、真に必要な介護サービス以外の不要なサービスが提供されていないかの検証や介護サービス事業者間による連絡協議会の開催等により、介護給付等に要する費用の適正化を目的として実施する事業です。

#### 【取り組み内容】

住宅改修時における立会（確認）の実施や、直営による認定調査、受給者への介護保険サービス利用時の給付費通知書の発送（年3回）を行います。

今後は、国保連合会のシステム活用、ケアプランチェック、被保険者からのヒアリング等も実施します。

#### 【実施方法】

事業主体（委託先）	担当課	実施場所
町	保健センター 介護保険係	保健センター

# 日之影町の地域ケア会議

## 特徴

- ①参加者が多種・多様:町(地域包括、介護、高齢者、障害各担当)、保健所、西臼杵支庁福祉課、町国保病院、国見ヶ丘病院、社会福祉協議会、町内ケアマネージャ、特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、老人保健施設、民生委員、デイサービス及びホームヘルプ事業者等
- ②内容が多彩:事例検討、養護老人ホーム入所判定、福祉保健に関する連絡事項
- ③開催後にケアマネージャの会議を開き、個別の事例カンファレンスを行っている。

